



# 銀座の言語景観9

日本大学文理学部国文学科  
日本語学基礎演習2

- はじめに
- フロアガイドの報告と分析
- パンフレットの報告と分析
- 免税カウンターの報告と分析
- トイレの報告と分析
- エレベーターの報告と分析
- エスカレーターの報告と分析
- 臨時的掲示時計売場の報告と分析
- 臨時的掲示電化製品売場の報告と分析
- 臨時的掲示コスメ売場の報告と分析
- 臨時的掲示伝統工芸品売場の報告と分析
- 店内放送の報告と分析
- ホームページの報告と分析



## 第4章 免税カウンターの報告と分析

### 4.4.施設の正面入り口のフロアガイドの免税カウンターの案内表記について (海老名昂汰)

表2.フロアガイドに記載された免税カウンターの言語景観

施設名	日	英	中(簡)	中(繁)	韓	使用言語数 (横計)
EXITMELSA						
GINZA SIX	1	2				2
NISHIGINZA(西銀座)						
ギンザ・グラッセ						
銀座三越		1	2		3	3
パーニーズニューヨーク銀座店						
阪急メンズ東京	2	1				2
松屋	2	1				2
マロニエゲート銀座1						
マロニエゲート銀座2&3						
メルサ銀座二丁目店						
ルミネ有楽町店		1				1
和光						
銀座コア						
銀座ベルビア館						
東急プラザ銀座		1				1
有楽町マルイ		1				1
有楽町イトシア						
有楽町マリオン						
各言語使用数(縦計)	3	6	1		1	

表2を見ると免税カウンターの表記がある店舗は英語が必ず使われており、次に日本語が使われていた。また中国語は簡体字のみで表記されており、韓国語と同じ使用度数だった。19の店舗を調査したが7店舗しか免税カウンターの案内表記をしていなかった。

図1.施設ごとの免税カウンターの表記の使用言語

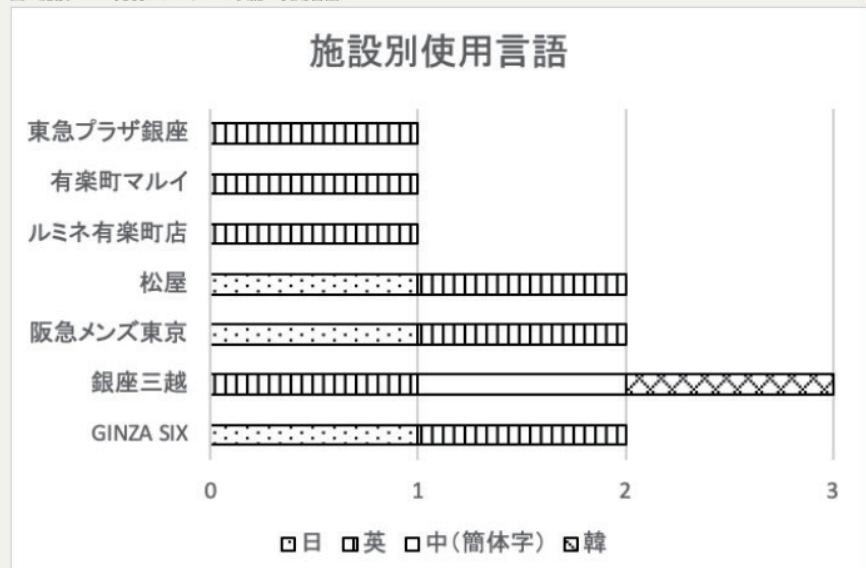


図1は正面入り口のフロアガイドに免税表記のあった7つの店舗の使用言語を積み上げ上に図式化したもので、銀座三越が3言語とこの中で最も多く対応していた。また有楽町にある施設（阪急メンズ東京・有楽町マルイ・ルミネ有楽町）の施設の言語対応数は平均で1.3言語で、銀座にある施設の言語対応数は平均で2.0言語だった。また、英語と日本語のほかに中国語と韓国語のみ表記されていることから、アジア圏の来日旅行者の数が対応言語にかかっているのではないかと考えた。

表3.2018年 国籍/目的別 訪日外客数

### 2018年 国籍/目的別 訪日外客数（確定値）

出典：日本政府観光局（JNTO）

	総数	伸率(%)	観光客	伸率(%)	商用客	伸率(%)	その他客	伸率(%)
総数	31,191,856	8.7	27,766,112	9.1	1,795,213	0.7	1,630,531	11.2
アジア	26,757,918	8.3	24,184,765	8.4	1,192,261	0.9	1,380,892	12.2
韓国	7,538,952	5.6	6,977,812	5.8	356,999	-2.5	204,141	12.9
中国	8,380,034	13.9	7,426,173	15.2	369,028	0.6	584,833	8.1
台湾	4,757,258	4.2	4,544,086	4.1	126,929	1.4	86,243	14.0
香港	2,207,804	-1.1	2,156,354	-1.1	37,548	-3.5	13,902	16.9
タイ	1,132,160	14.7	1,060,402	15.4	40,394	3.6	31,364	7.3
シンガポール	437,280	8.2	396,901	8.8	35,311	2.4	5,068	7.8
マレーシア	468,360	6.6	426,507	6.9	27,355	0.1	14,498	10.6
インドネシア	396,852	12.6	330,217	13.3	28,594	1.0	38,041	17.1
フィリピン	503,976	18.8	426,404	20.8	26,877	1.9	50,695	13.5
ベトナム	389,005	25.9	135,963	26.9	37,188	11.3	215,854	28.2
インド	154,029	14.6	62,207	16.9	58,012	13.0	33,810	13.5
マカオ	108,694	-5.7	107,067	-5.8	762	-14.1	865	11.6
イスラエル	39,193	19.6	33,145	22.9	5,095	3.0	953	14.0
モンゴル	27,647	18.3	12,925	10.5	5,839	48.2	8,883	15.0
トルコ	19,762	3.3	13,578	7.6	4,279	-6.7	1,905	-0.8
その他アジア	196,912	7.4	75,024	14.8	32,051	6.1	89,837	2.3

表3を見ると韓国や中国、台湾といったアジア圏からの外客数がおおよそを占めていることが分かった。このことから先ほど述べた来客数の数が対応言語の表記に関わっているということが分析できた。

#### 4.1.調査概要

#### 4.5.免税カウンターのあるフロアでメインエスカレーターの近くにある一番最初に見る案内表記からわかる言語景観の分析（松尾心愛）

#### 4.6.免税カウンター入り口の案内表記から見る言語景観（武末文香）